

「パワフルとみざわネットワーク」

富沢市民センター×太白区中央市民センター

1 事業概要

富沢地域は子育て世代が多く、地域の小中学校では、おやじの会や社会学級などで若い世代が活発に活動しています。しかし、その一方で、地域の町内会では役員の高齢化が進み、次世代の担い手となる人材が不足しているといった課題があります。そこで、富沢市民センターでは、地域で活躍する若い世代と町内会が地域交流イベントを協働で開催し、各団体間の交流促進と、相互理解を深めることをめざして「パワフルとみざわネットワーク」を行っています。平成28年度から、その中心的な事業として開催しているのが、地域資源「筑川」にちなんだイベント「ざる川フェスティバル」です。

2 今年度の活動



「ざる川フェスティバル」は新型コロナウイルス感染拡大のため、残念ながら2年連続で中止になりました。令和4年度は3年ぶりの開催をめざし、5月の実行委員会から、町内会、おやじの会、社会学級のメンバーが活発に話し合いを行ってきました。



実行委員会では、イベントに関する仙台市のガイドラインの改訂がある度にイベントの内容を見直しながら、開催に向けて協議を重ねました。また、令和3年度に「ざる川フェスティバル」の新たな試みとして提案された、公募による筑川スナップ写真の展示「ざるスナ」を実現できるように企画を進めました。その結果、今年度は10月23日に「第5回ざる川フェスティバル」の開催に至り、近隣の小中学校の児童、生徒を中心とした8団体の演目によるステージ発表、おやじの会や社会学級による芋煮、焼き鳥、おにぎり、飲み物の屋台販売を行い、およそ2,400人の方に来場いただきました。

3 成果と課題

地域の諸団体が、「イベント開催」という共通の目標に向けて協議と準備を重ねていくことで、各団体の間に顔の見える関係を築くことができました。また、地域の課題を共有する機会にもなっており、この事業に参加した若い世代が町内会活動にも参加して活躍しています。今後、若い世代の地域活動への参加をさらに推進するとともに、富沢地域全体に広げていくことがこれからの目標です。



4 今後の展望



地域資源である「筑川」を活用したイベントの開催に向け、町内会と若い世代がそれぞれの団体の長をを活かしながらアイデアを出し合うことは、地域の絆とネットワークづくりが促進される機会となっています。

富沢市民センターでは、地域を担うリーダーが若い世代へと受け継がれていく体制づくりを強化すべく、町内会と若い世代の橋渡しを引き続き行っていきます。